

平成 20 年 5 月 18 日

平成 20 年度国際学術コミュニケーション委員会 活動報告

1. 国際学術コミュニケーション委員会開催状況

- ・国際学術コミュニケーション委員会（5月16日：平成19年度第2回／東京大学）
 - 平成19年度の活動について
 - 理事会への報告について
- ・国際学術コミュニケーション委員会（7月22日：平成20年度第1回／大阪学院大学）
 - グローバル ILL/DD の展開について
 - SPARC への対応について
- ・国際学術コミュニケーション委員会（10月17日：平成20年度第2回／一橋大学）
 - 秋季理事会への報告について
 - 今後の委員会活動について

2. GIF プロジェクト活動報告

1. GIF プロジェクト会議等開催状況

- ・平成20年12月19日、GIF ガイド（OCLC 版）の改定と改定版のホームページ掲載のため、北海道大学、筑波大学、千葉大学、一橋大学、金沢大学、九州大学の実務担当者からなるワーキンググループを設け、キックオフミーティングを開催した。成果である改訂版は5月にアップされた。
- ・平成20年12月22日、北米側対応機関 NCC の ILL/DD Committee の Co-chair である坂井千晶氏（アイオワ大学）及び鎌田氏（アリゾナ大学）両氏の来日を機に GIF プロジェクト会議を開催し、米国側の ILL/DD Committee のメーリングリストに委員長館の一橋大学も参加すること、米国側 GIF 関係ポータル開設、OCLC システムの改善方法などの意見交換を行った。

2. 活動概要

（1）日米 ILL/DD プロジェクト

GIF プロジェクト参加状況

参加大学図書館数は平成21年4月10日現在で日本側152大学図書館、米国側74大学図書館であり、平成20年10月以降、日本側1大学図書館、北米側4大学図書館の増加となっている。

現物貸借サービス参加状況

現物貸借サービスの参加状況は、平成21年4月8日現在で日本側82大学図書館、北米側39大学図書館であり、平成20年10月以降、日本側1大学図書館、北米側2大学図書館の増加となっている。

日米 ILL/DD 実施状況

平成20年度4月～3月の日米 ILL/DD の実施状況は、表1のとおりである。前年度同時期に比べ、依頼件数で3.2%、受付件数は32%増加した。

日本側謝絶率は44.5%であり、前年度53.8%より減少した。米国側謝絶率は71.8%であり、前年度(71.9%)と同程度である。

表1 日米 ILL/DD 実施状況 (平成20年4月～平成21年3月)

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	929	727	0	1,656	386	917	0	1,303
現物貸借	240	211	0	451	196	566	0	762
合計	1,169	938	0	2,107	582	1,483	0	2,065

GIF ガイド (OCLC 版) Ver.3 の GIF ホームページ上での公開

GIF プロジェクトの下に全国の海外 ILL 実務担当者からなる GIF ワーキンググループを組織して、GIF ガイドの改定に取り組んだ。

平成21年5月には、改定版を公開したので、実務上のトラブルや謝絶率の減少に効果が期待される。

(2) 日韓 ILL/DD プロジェクト

GIF プロジェクト参加状況

平成21年2月2日現在、日本側参加館は110大学図書館、韓国側参加館は266大学図書館となっている。平成20年10月以降、日本側で1大学図書館、韓国側で3大学図書館の増加となっている。

日韓 ILL/DD 実施状況

平成20年度4月～3月の日韓 ILL/DD の実施状況は、表2のとおりである。前年度に比べ、依頼件数は16件の増加、受付件数は300件の増加となっているが、謝絶率では依頼において47.9%(43.9%)と増加しているが、受付においては26.4%(30.3%)と減少している。

表2 日韓 ILL/DD 実施状況 (平成20年4月～平成21年3月)

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	51	47	0	98	2,063	741	0	2,804

3. 今後の課題

- (1) 日韓 ILL/DD 暫定サービスガイドの改定
- (2) 日韓 ILL/DD プロジェクトにおける現物貸借の検討
- (3) 日米 ILL/DD の改善と国際 ILL 担当者のスキルアップ
- (4) 実務作業グループとしての GIF プロジェクト体制の検討

3. SPARC/JAPAN プロジェクト活動報告

以下のSPARC/JAPAN会議へ委員を参加させ、大学図書館との情報共有を図った。SPARC/JAPAN活動は今後は、大学図書館との連携に軸足を向ける方向に進むと思われる。

1. SPARC/JAPAN 諸会議への参加

(1) SPARC/JAPAN 運営委員会

- ・第1回運営委員会(12月24日/国立情報学研究所)
 - 平成20年度事業実施状況
 - 第3期の進め方
- ・第2回運営委員会(3月10日/国立情報学研究所)
 - 事業実施状況
 - 第3期の進め方
 - DRFIC2009共催について
 - パートナー誌合同会議の開催について
- ・第3回運営委員会(3月27日/国立情報学研究所)
 - 今後の進め方について

(2) SPARC/JAPAN ワーキンググループ会議

- ・第1回ワーキンググループ会議(5月7日/国立情報学研究所)
 - ワーキンググループについて
 - 平成20年度の調査・プロモーションについて
- ・第2回ワーキンググループ会議(8月7日/国立情報学研究所)
 - 活動状況報告、今後の活動計画
 - 大学図書館と学会とのコラボレーションについて
- ・第3回ワーキンググループ会議(10月10日/国立情報学研究所)
 - 活動状況報告、今後の活動計画
 - SPARC Japan ニュースレターの発行について
 - 大学図書館と学会とのコラボレーションについて
- ・第4回ワーキンググループ会議(12月15日/国立情報学研究所)
 - 活動状況報告、今後の活動計画
 - 第3期の活動について

4. 委員名簿

(1) 国際学術コミュニケーション委員会委員

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------|----------------|---------|
| ・ 一橋大学附属図書館長 | 齋藤修 | H20.4 ~ H20.12 | |
| | 渡辺雅男 | H20.12 ~ | |
| ・ 筑波大学大学院図書館情報
メディア研究科教授 | 逸村裕 | H20.4 ~ | |
| | | | |
| ・ 千葉大学文学部教授 | 土屋俊 | H20.4 ~ | |
| | 千葉大学附属図書館情報サービス課長 | 相原雪乃 | H20.4 ~ |
| | 東京大学附属図書館総務課長 | 栃谷泰文 | H20.4 ~ |

(H21.4 から名古屋大学附属図書館事務部長)

東京大学附属図書館情報管理課長 木村優 H20.4 ~

(H21.4 から東京大学附属図書館総務課長)

お茶の水女子大学附属図書館・
情報チームリーダー 茂出木理子 H20.4 ~

名古屋大学附属図書館情報管理課長 井上修 H20.4 ~

大阪大学附属図書館吹田地区図書館
サービス課長 小川晋平 H20.4 ~

国立情報学研究所学術基盤推進部次長 早瀬均 H20.4 ~ H21.3

国立情報学研究所学術基盤推進部 細川聖二 H20.4 ~

学術コンテンツ課図書館連携チーム
専門員

一橋大学学術・図書部長 大場高志 H20.4 ~

一橋大学学術・図書部学術情報課長 長友良維 H20.4 ~ H21.3

(2) GIF ワーキンググループ

北海道大学 情報サービス課相互利用担当 東朋子

筑波大学 情報サービス課相互利用係 藺部明子

金沢大学 情報サービス課相互利用係 伊藤美和

千葉大学 情報サービス課相互利用係 米田奈穂

一橋大学 学術情報課レファレンス係 谷山秀幸

東京大学 理学部物理学図書室 森恭子

九州大学 利用支援課文献流通サービス係 工藤絵理子